

第26回 長崎都市経営戦略推進会議

令和5年5月10日(水)14:00~16:00

十八親和銀行 本店 別館9階 会議室

【議事（案）】

1 推進会議規約の改正、新規委員の選任について

第5条（構成）

2 次回サミットに向けて(報告確認事項)

(1) 海洋・・・「商船三井との連携協定」について

(2) 医療・・・「長崎オープンイノベーション拠点」「医療・福祉機器等ものづくり検討会」について

(3) 観光・交流①・・・「長崎青年会議所の住吉商店街活性化」について

(4) 長崎大学学部移転

3 次回サミットに向けて(討議事項)

(1) 観光・交流②・・・「ナガサキスタジアムシティプロジェクト」の地元経済への波及について

(2) 観光・交流③・・・「オーバーツーリズムへの懸念」について

(3) 前回サミットの振り返り・・・「人財についてのまとめと次回への橋渡し」

(4) 人財・・・多様な世代の声を大事にするサミットへのアップデートについて

第26回長崎都市経営戦略推進会議 出欠名簿

氏名	所属団体	役職	出欠	代理及び随行者等
1 小川 洋	長崎都市経営戦略推進会議 議長	議長	○	
2 鴛海 健起	日本銀行長崎支店長	副議長	○	
3 佐々木 達也	長崎商工会議所 副会頭	委員	×	
4 松永 安市	長崎商工会議所 専務理事	委員	○	随行者:高嶋部長、濱崎課長、松尾氏
5 篠崎 良介	長崎商工会議所 青年部 会長	委員	○	
6 狩野 靖	長崎経済同友会 事務局長	委員	○	
7 峯下 隆久	長崎県経営者協会 専務理事	委員	○	
8 山口 知宏	長崎青年会議所 理事長	委員	○	中村副理事長
9 佐藤 烈	マスコミ 長崎新聞社 取締役経営企画室長	委員	○	
10 三井 一明	長崎経済研究所 代表取締役	委員	○	
11 田川 伸一	推進会議事務局長/支援協会事務局長	委員	○	
12 永安 武	長崎大学 理事(研究・国際担当)	アドバイザー	○	随行者:藤田政策企画部長、米田広報戦略課長、 鎌取政策企画課主査(企画担当)
13 早稲田 智仁	長崎県 企画部長	オブザーバー	○	随行者:政策調整課 山下課長、 辻川課長補佐、東山係長
14 久田 浩	長崎市 商工部長	オブザーバー	○	随行者:産業雇用政策課 久保課長 川村課長補佐、平迫係長
15 下田 政彦	九州経済連合会 長崎地域委員会 幹事/ 九州電力株式会社 長崎支店長	オブザーバー	○	
16 岸本 悟	九州経済連合会 長崎地域委員会 幹事/ 九州旅客鉄道株式会社執行役員長崎支社長	オブザーバー	×	

※赤文字は新任の方です

14 出席
2 欠席

艶島 博	十八親和銀行 常務執行役員		○	
百崎 浩之	十八親和銀行 地域振興部長		○	

（名称）

第1条 本会議は、長崎都市経営戦略推進会議（以下「推進会議」という。）と称する。

（目的）

第2条 推進会議は、産学官連携のもと、地域経済活性化策を検討・具現化し、地域振興に貢献していくことを目的とする。

（活動）

第3条 推進会議は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- （1） 地域経済の活性化に資するプロジェクトの推進及び支援に関すること。
- （2） 関連する各種団体間の経済活性化に関する活動の方向性についての情報共有及び協働に関すること。
- （3） 推進会議の活動に関する情報発信に関すること。
- （4） プロジェクトの推進に必要な要望活動に関すること。
- （5） 長崎サミットに関すること。
- （6） 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事業(但し、収益事業を除く)に関すること。

（事務所）

第4条 推進会議の事務所は、長崎市内におく。

（構成）

~~第5条 推進会議は、次に定める団体により選任されたものにより構成する。~~

~~（1） 主催団体~~

~~長崎商工会議所、長崎経済同友会、長崎県経営者協会、長崎青年会議所~~

~~（2） アドバイザー~~

~~長崎大学~~

~~（3） オブザーバー~~

~~長崎県、長崎市、九州経済連合会地域委員会~~

~~（4） その他~~

~~——上記以外に必要な応じて、アドバイザー、オブザーバーを置くことができる。——~~

第5条 推進会議は、以下の主催団体・アドバイザー・オブザーバーより選任された委員により構成する。

（1） 主催団体

長崎商工会議所、長崎経済同友会、長崎県経営者協会、長崎青年会議所

（2） アドバイザー

長崎大学

（3） オブザーバー

長崎県、長崎市、九州経済連合会地域委員会

2 これに加えて推進会議の場において推薦された個人・団体も委員とすることができる。

（役員）

第6条 推進会議に次の役員を置く。

（1） 議長 1名

- (2) 副議長 2名以内
- (3) 会計監事 2名以内

(役員を選任)

第7条 議長及び副議長は、第5条の規定により選任されたもののうちから互選する。

- 2 会計監事は、議長が指名する者をもって充てる。

(役員職務)

第8条 議長は推進会議を代表し、その会務を総理する。

- 2 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、あらかじめ議長の指名する副議長が、その職務を代理する。
- 3 会計監事は、推進会議の会計を監査する。

(会議)

第9条 推進会議の会議は、議長が招集し、その議長となる。

- 2 推進会議の会議は、次の事項を決議する。
 - (1) 規約の改正、廃止
 - (2) 役員を選任に関する事項
 - (3) 推薦された委員の選任に関する事項
 - (4) 事業計画及び事業報告の承認
 - (5) 収支予算及び決算の承認
 - (6) その他推進会議の運営に関する基本的事項

(プロジェクトチーム等の設置)

第10条 推進会議は、第3条に掲げる活動を行うため、プロジェクトチーム等を置くことができる。

- 2 プロジェクトチーム等の組織、運営その他必要な事項は、議長が別に定める。

(経費)

第11条 推進会議の活動に必要な経費は、一般社団法人長崎都市経営戦略支援協会（以下、「支援協会」という。）からの助成金、その他の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)

第12条 推進会議の会計年度は、毎年8月1日から翌年7月31日までとする。

(事務局)

第13条 推進会議の事務を処理するため、推進会議に事務局を置く。

- 2 事務局は支援協会の事務を受託する。
- 3 事務局の運営に関し必要な事項は、議長が別に定める。

(その他)

第14条 この規約に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、議長が推進会議に諮りこれを定める。

附則

この規約は令和5年5月10日より施行する。



長崎オープンイノベーション

ライフサイエンス共学講座

～ キックオフ ～

令和5年4月19日(水) 13:30～15:30

1. 「長崎大学における医療機器開発事例と今後の展望」

長崎大学 研究開発推進機構 機構長 永安 武

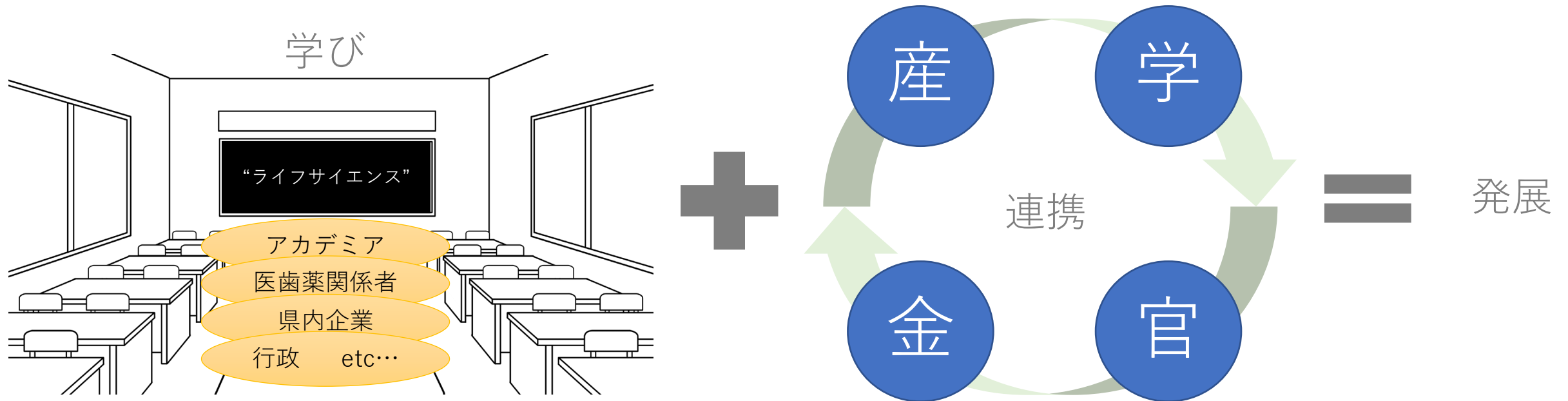
2. 「産学官金連携による医療機器開発の社会実装プロセスについて
～舞いあがれ！チーム長崎～」

サンキョウサポート株式会社 代表取締役 鏡山 佳宏

3. 質疑応答

【長崎 OI ライフサイエンス共学講座とは】

医療現場の課題やニーズなどをオープンイノベーションにより解決するため、産学官金のあらゆる団体に所属する異業種人材が、相互交流を図りながら共にライフサイエンスについて学び、異分野がもつサービス、ノウハウ、データなどを組み合わせることにより、革新的なビジネスモデルの構築や研究成果の創出等につなげることでライフサイエンスの発展を推進することを目的とした講座。



【令和5年度目標】

- ・ ライフサイエンス分野における産学官連携のマインド醸成
- ・ ライフサイエンス分野における産学連携のきっかけ作り
- ・ 医療機器開発等に関する知識（プロセスや認証等）、理解の向上

【企画・運営事務局】

長崎オープンイノベーション拠点 ライフサイエンス推進 事務局

※窓口：研究開発推進機構 産連室

○長崎大学

- ・ 理事
- ・ 副学長
- ・ 総合生産学域
- ・ 医歯薬総合研究科
- ・ 工学研究科
- ・ 情報データ科学部
- ・ 熱帯医学研究所
- ・ 医療教育開発センター
- ・ 研究開発推進機構
- ・ 研究国際部
- ・ 大学病院

○長崎県

- ・ 産業労働部
- ・ 産業政策課
- ・ 新産業創造課
- ・ 政策企画課

○長崎県産業振興財団

- ・ 理事長
- ・ 常務理事
- ・ 企業誘致推進本部

○長崎市

- ・ 商工部 産業雇用政策課

○佐世保市

- ・ 観光商工部 商工労働課

○長崎商工会議所

- ・ 中小企業振興部

○長崎都市経営戦略推進会議

Medtec Japan2023視察報告

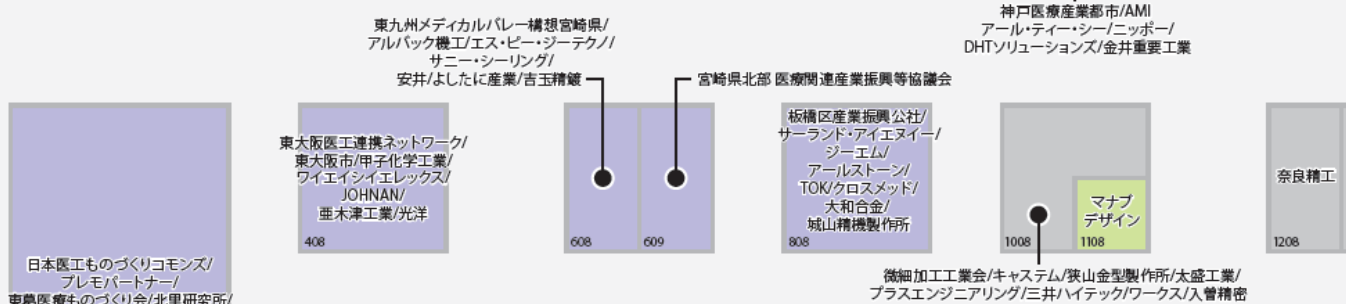
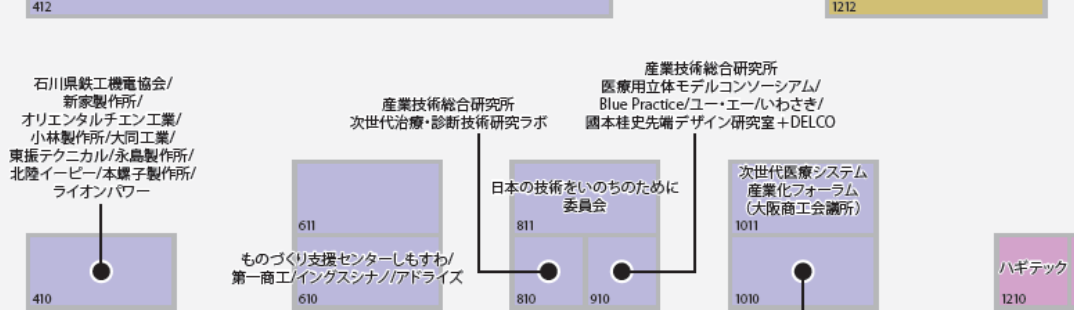
【Medtecとは】

- 医療技術と医療機器の開発、製造、販売などの分野に関する情報や展示会などを扱う国際的なイベント
- 医療機器メーカーや医療従事者、医療に関連する企業などが参加し、新しい技術や製品について交流や情報共有を行っている

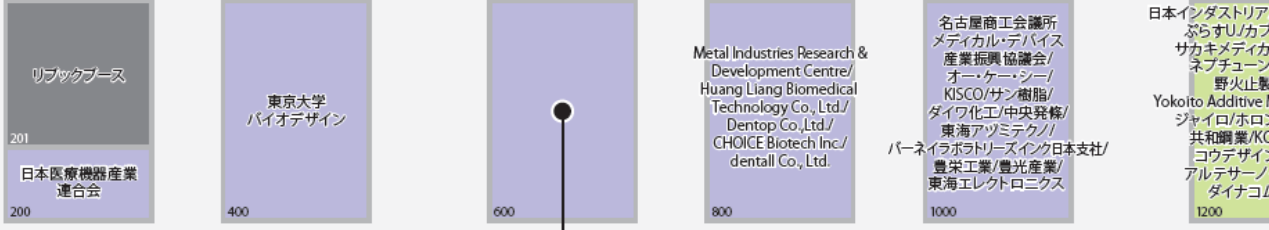
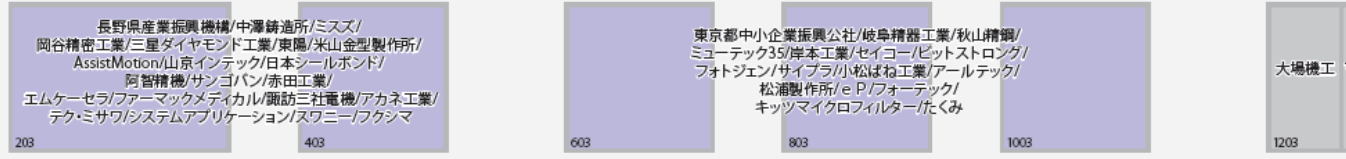
【視察日】 2023年4月20日（木）～21日（金）

【会場】 東京ビッグサイト

【視察者】 長崎都市経営戦略推進会議 事務局 寶珠



一般・自治体エリア
General/Pavilion Area



名刺交換先

宮崎県

東京都
中小企業振興公社

長野県
産業振興機構

石川県
鉄工機電協会

横浜市

東大阪市

公益財団法人
板橋区産業振興公社

ものづくり支援センター
しもすわ

公益財団法人
日立地区産業支援センター

大阪商工会議所

名古屋商工会議所

大阪大学 大学院 医学系
研究科・医学部附属病院

国立大学法人
浜松医科大学

鳥取大学 医学部附属病院
新規医療研究推進センター

学校法人
北里研究所

公益財団法人
神戸医療産業都市推進機構

はままつ次世代光・健康医療
産業創出拠点

一般社団法人 日本医工
ものづくりコモンズ

一般社団法人
日本医療機器産業連合会

一般社団法人
微細加工工業会

株式会社
小松精機工作所

有限会社
岩井製作所

第26回 長崎都市経営戦略推進会議

令和5年5月10日（水）14:00～ 於：十八親和銀行本店別館9階大会議室

【今回のベース資料】

第25回長崎サミット：討議ポイント③

次回以降の長崎サミットプロジェクトへの橋渡し

- ① 本日の討議内容を踏まえ、大きな方向性と「産官学+金情」の役割分担を検討し、具体策へ
 - 将来を見据えた長崎の方向性やベクトルを共有。キーは「若者」、「チャレンジ」、「デジタル」、「長崎らしさ」
 - 分散的に取り組みを進めるより、力を合わせていく
 - 各主体が「自分事」として、地域のために果たすべき役割・責任を考え、具体的なアクションに踏み出していく（不確実な時代「一歩踏み出すと次の一歩がみえてくる」）
- ② 多様な世代の声を大事にするサミットへのアップデート
 - ・ これからを担う世代の思いや希望を踏まえた将来目線の取り組みへ

第25回長崎サミット：討議ポイント②

早く着手



腰を据えて取り組み

経済分野

今起きている人手不足への対応
→企業情報の発信、マッチング
→多様で柔軟な働き方の推進（兼業、副業なども）

将来に向けた「チャレンジ」を応援する仕組み
→先進的な事業モデル構築の挑戦や変革
デジタル人材の育成（今いる人の有効活用）

G X、D Xの方向性や強化分野の方針共有

企業人材のD X対応やリスクリング
→長崎での働きがいと生産性アップ→賃上げ実現

次世代成長産業の振興、地元企業とのコラボ

地元就職、Uターン+「長崎で勝負したい」Iターン（国内他地域、海外）

労使の協力による働きがいのある職場作り
働き方改革≠長時間労働是正

地域づくり全般

人口減少のペース抑制
→魅力・活力向上+交流人口拡大
→徹底したデジタル化

「OS」の書き換え時期
→各主体が自らの機能やあり方を再定義
→若者の価値観変化（サクサク動きたい）への対応

人間らしさ溢れる魅力的で快適な地方都市像
→若者が集い楽しめる場づくり
→スタジアムシティ構想の応援と協働
→商店街のリバイバル
→「長崎愛」「civic pride」を刺激する情報発信

「まちなか」の学びの場

（分散的に）行われている多くの取り組みの横串

人口減少はむしろ変革のチャンスという目線

wwwにおける情報発信（平和以外のコンテンツ）

長崎のアイデンティティや誇りを持ち、予測困難な時代に立ち向かう人財

「長崎ならではの」を意識したふるさと教育
→様々な立場から「長崎の可能性」を子供たちへ

小・中・高を含めた教育界と産業界の連携
→教育は学校だけのものでない、社会全体で教育
→地域人財を育む継続的な教育のプラットフォーム

安心して暮らしていくための包摂的な学びの機会
→デジタルデバイドの回避
→金融リテラシーの底上げ

【参考】

本表は、
討議ポイント①を
分野別、
短期・長期に
マトリックス化
したもの